

あとがき

全学共通カリキュラム運営センター総合系科目構想・運営チームメンバー／
理学部教授 後藤 聡

「全学共通科目についての問題提起をさせてください」

1. 全学共通科目の授業内容の統一性について

立教大学の全学共通科目は、異なる学部や学科に所属する学生が共通して履修する科目です。しかし、授業内容については教員や学科によって異なる場合があります。このため、全学共通科目を履修する学生たちにとって、同じ科目であっても学ぶ内容が異なってしまう可能性があります。授業内容の統一性を確保するための取り組みが必要ではないでしょうか。

2. 全学共通科目のカリキュラムの見直しについて

立教大学の全学共通科目は、多様な分野から選ばれた科目が設置されています。しかし、現状では全学共通科目のカリキュラムの見直しについて議論されることが少ないように思われます。全学共通科目のカリキュラムが、現代社会において求められる知識やスキルに沿ったものであるか、また、必要な科目が選ばれているかなど、見直しの必要性があるのではないのでしょうか。

3. 全学共通科目の履修義務について

立教大学の全学共通科目は、全学部・全学科の学生が必ず履修しなければならない科目です。しかし、履修義務を設けることで、学生たちが自由に選択する科目の時間が削られてしまう可能性があります。また、全学共通科目に割く時間や労力が、学生たちが専門的に学ぶ科目や課外活動などに割ける時間を制限することにもなります。このため、全学共通科目の履修義務について見直す必要があるのではないのでしょうか。

いろいろと物議を醸し出しそうな問題提起で申し訳ありません。実はこれ、「立教大学の全学共通科目について問題提起をしてください」と人工知能チャットボットであるChatGPTに投げかけて出てきた答えなのです。これにはいろいろと考えさせられます。

まず、形式的には整然としており説得力のある文章です。また、この文章は私が考え出したものだと言っても誰も不思議には思わないでしょう。内容については的を射しているところもあれば全くの的外れと思われるところもありますが、よく知らなければ納得してしまいそうです。

真と偽を精査しないままに、自分で考えないままに、それらしい答えが簡単に得られてしまう道具ができてしまった現在、立教のリベラルアーツ教育を体現している全学共通科目、いや大学教育に求められるものは何かを真剣に考えないといけないのかもしれない。

ごとう さとし